

## 第1学年 生活科 学習指導案

生駒市立生駒小学校 教諭 米田智香子  
教諭 井上佳守美  
教諭 中垣義之  
教諭 松田桃佳  
講師 佐藤有紗

### 1. 単元名 「いこしょうジオラマづくり～みのまわりのたからものさがし～」

### 2. 単元目標

- ・身近な生き物を探したり、観察したりする活動を通して、身近な生き物は生命をもっていることに気づき、気づいたことを活用してジオラマにまとめることができる。 (知識・技能)
- ・小学校内の生き物探しの活動やこれまでの経験を通して、より多くの生き物と出会うための方策を考えたり、活動の中で出会ったものについて伝えたりすることができる。 (思考・判断・表現)
- ・自分たちの周りにはたくさんの生き物がいることに気づくとともに、意欲的に生き物探しをしたり、ジオラマにまとめたりすることで、生き物に親しみをもって大切にしようとするすることができる。 (主体的に学習に取り組む態度)

### 3. 単元について

#### (1) 教材観

本単元は、学習指導要領第1学年及び第2学年の内容(7)「動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとする。」を元に構成している。学校で生き物を探す活動を通してそれらの育つ場所や変化の様子に関心をもつことができる。また、学校からさらに校外へと探す場を広げていき、見つけた生き物だけでなく出会った人やものをジオラマにまとめていく。それらの活動を通して、学校のまわりの身近な場所や地域の方に親しみをもつことができると考える。

#### (2) 児童観

本学年の児童は、1学期の生活科において、2年生とともに学校探検を行った。2年生との交流によって、学校生活における他学年とのつながりをもち、学校の施設について関心を高めた。加えて、実際に他学年が施設で学習する様子を見学し、それらの施設がどのように利用されているのか学んだ。3年生の音楽の授業では、音楽室にある五線譜のついた黒板や、スピーカー、楽器など、自分たちの教室と比較しながら様々なものに興味を持つ様子が見られ、5年生の調理実習では、火を使うことに驚き、「自分たちもやってみたい」と関心を寄せていた。

また、1学期の生活科では朝顔を育て、児童たちは毎日熱心に水やりを行った。その際、植木鉢の周辺にいるダンゴムシやナメクジなどの生き物に興味をもち、観察する様子が見られた。

これらの活動に積極的に取り組む様子から、ジオラマづくりにも意欲的に取り組むのではないかと考える。

#### (3) 指導観

本単元の指導にあたっては、校庭や公園で虫を探したり草花を見つけたりする活動を通して、身近な

生き物の育つ場所、その変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、生き物への親しみをもち大切にしようとするようにできるようにする。

そこでまず、課題設定では、虫を見つけない・捕まえないという思いや願いを持つことができるようにする。次に、一番身近な生活の場である学校には、どんな種類の虫がどのような場所にいるのかを伝え合う活動を通して、場所による生息状況の違いに気づかせたい。また、学校内で十分虫を見つけない場合、どこに虫がいるのか話し合う場を設定し、自分たちの経験を基に学校の外にも虫さがしができる場所があることに気づかせる。公園や自分たちの出身園など身近な場所に行ってみようという興味関心を高めていく。

また、振り返りでは、捕まえた虫の種類や捕まえた場所について確認する活動を取り入れる。それを地図上に旗を立てて示し整理することで、生小ジオラマの作成に取り組む。その過程で知り合った人やもの、友だちとのつながりを大切に、自分たちの周りには素敵な宝物があることに気づかせ、自分たちの発見を他の人にも広げたいという思いや願いにつなげさせたい。

#### (4) ESD との関連

##### ・本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

多様性・・・生駒小学校にはたくさんの生き物がいて、小学校の周りにはさらにたくさんの生き物がいる。

相互性・・・わたしたちの生活にはたくさんの生き物や人が繋がっている。

責任性・・・自分が見つけたものをみんなに知らせるため、協力してジオラマを完成させる。

##### ・本学習で育てたい ESD の資質・能力

多面的・総合的に考える力 (システムズ・シンキング)

生駒小学校のことを知り、生駒小学校の周りのことを知る。自分だけでなく、友だちの知っていること・見つけたものを共有することで、知識を広げる。

コミュニケーションを行う力

見つけたものを友だちと共有し、質問し合ったり、意見を出し合ったりすることができる。

他者と協力する態度

友だちと一緒に協力しながら、1つのジオラマを完成させることができる。

つながりを尊重する態度

自分たちと生き物・周りの人とのつながりを意識しながら活動することができる。

##### ・本学習で変容を促す ESD の価値観

幸福感に敏感になる。幸福感を重視する。

自分たちはたくさんのものや人に支えられながら生きていることを知る。今まで出会っていなかったもの・人と繋がることで、自分のまちをより好きになる。

自然環境、生態系の保全を重視する。

生駒小学校区にはたくさんの自然や生き物がいて、これからも大切にしていける必要がある。

##### ・達成が期待される SDG s

目標 3 : 健康・福祉

目標 11 : まちづくり

目標 15 : 緑の豊かさを守ろう

#### 4. 単元の評価規準

| ア 知識・技能  | イ 思考・判断・表現   | ウ 主体的に学習に取り組む態度   |
|--|--|---|
| <p>① 自分たちの身の回りのすべての生き物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。</p> <p>② 小学校内や小学校周辺での生き物探しで発見したことを、ジオラマにまとめる技能を身に付けている。</p> | <p>① 身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。</p> <p>② 生き物探しやその道中で出会ったものを友だちに伝えたり、ジオラマの中に表現したりしている。</p> | <p>① もっとたくさんの生き物に出会いたいという目的意識をもって、生き物探しをしている。</p> <p>② 活動の中で見つけたものを集めて、意欲的にジオラマで知らせようとしている。</p> <p>③ 生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。</p> |

#### 5. 単元の指導計画（全 10 時間）

| 次 | 主な学習活動   | 学習への支援（・）   | 評価（△）<br>備考（・）  |
|---|--|---|---|
| 1 | <p>○生駒小学校で生き物探しをしよう。</p> <p>○見つけたものを知らせよう。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動場所の下見を行い、生息する虫の種類や危険な動植物の有無の確認をする。</li> <li>・学校で虫を見つけた児童の話聞き、「虫を探したい」「見たい」など、学習活動への意欲が高まるようにする。</li> <li>・虫が苦手な児童には、虫の好きな児童と一緒に活動させたり、教師と見つけた虫について気付いたことを話したりすることで、少しずつ虫への親しみがもてるように配慮する。または、植物で考えさせる。</li> <li>・教室に戻り、「どこで」「どんなふうに見つけたのか、虫の種類や見つけた場所を振り返らせる。</li> <li>・学校以外の場所でより多くの虫が見つかる場所はないか考えさせ、地域における生き物探しへの意欲を高める。</li> <li>・生き物探しをした場所（校庭・小運動場・学級園）の写真を見せ、前時の活動を通して見つけた生き物を想起させる。</li> <li>・見つけたものを書いた旗を作成させ、</li> </ul> | <p>△イ①（思考・判断・表現）</p> <p>△ア②（知識・技能）</p> <p>△イ①（思考・判断・表現）</p> |

|   |   |  |   |
|---|---|--|---|
|   |   | <p>生駒小学校のジオラマに集めさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジオラマや見つけたものの整理の表から、小学校にはあまり多くの種類の生き物がないことを意識づけし、もっと多くの生き物と出会いた</li> </ul>   | △ウ②(主体的に学習に取り組む態度)                      |
| 2 | ○生き物探し探検計画を立てよう。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園や家庭での経験を思い出して、学校よりも多くの生き物がある場所を考えさせる。</li> <li>・日常会話や朝の会、帰りの会などで身の回りの自然の様子を話題にして虫について触れておく。</li> <li>・身の回りのどんな場所に生き物がいるかを保護者に呼びかけて情報を集める。</li> </ul>  | △イ①(思考・判断・表現)                           |
| 3 | ○生き物探しに出かけよう。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的地までの経路を示し、安全に行動するための約束を確認する。</li> <li>・保護者や地域ボランティアの方に目的地や経路での見守りを願う。</li> <li>・「どなたのところにいるのかな。」と投げかけることによって、虫の居場所とその状況、虫の様子などに児童の関心が向けられるようにする。</li> <li>・どのように捕まえるとよいか考えさせ、生き物さがしに行くときの約束を思い出させる。</li> <li>・捕まえた虫を飼育ケースに入れる際、「土を入れる」「草を入れる」など児童の言葉を取り入れる。</li> </ul> | △イ②(思考・判断・表現)<br><br>△ウ②(主体的に学習に取り組む態度) |
| 4 | <p>○見つけたものを集めて、ジオラマで知らせよう。</p> <p>○見つけたたからものをどうしていきべきか考えよう。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・校区をいくつか分割して担当を決める。</li> <li>・虫を制作して見つけた場所に置いていく。</li> <li>・公園を起点にして周りにあるものや人考え制作していく。</li> </ul>   | △ウ③(主体的に学習に取り組む態度)<br><br>△ア②(知識・技能)    |

○本時のめあて

「がっこうにいるむしを、さがそう」

○本時の展開

|                | 学習活動 ・ 予想される児童の反応  | 学習への支援  | 評価                              |
|----------------|--|---|---------------------------------|
| 導入             | <p>○学校で、虫を見つけたことがある友達の話を聞く。</p> <p>○学校で生き物が多いそうな場所を考える。</p> <p>○本時のめあてを確認する。</p> | <p>・どんな虫が、どんな場所にいたのか詳しく聞くことで、「虫を探したい」「見たい」など、学習活動への意欲が高まるようにする。</p>   |                                 |
| がっこうにいるむしをさがそう |  |   |                                 |
| 展開             | <p>○外に出て、虫を探したり、捕まえたりする。</p>   | <p>・「どんなどころにいるのかな。」と投げかけることによって、虫の居場所とその状況、虫の様子などに児童の関心が向けられるようにする。</p> <p>・虫が苦手な児童には、虫の好きな児童と一緒に活動させたり、教師と見つけた虫について気付いたことを話せるようにして、少しずつ虫への親しみがもてるように配慮する。または、自然に生える花などの植物で考えさせる。</p> | <p>△ウ①③<br/>(主体的に学習に取り組む態度)</p> |
| まとめ            | <p>○教室に戻り、「どこで」「どんなふうに見つけたのか、虫の種類や虫を見つけた場所を伝え合う。</p>                             | <p>・虫のいた場所と、そこに生息する虫の種類を振り返らせる。</p> <p>・学校以外の場所でより多くの虫が見つかる場所はないか考えさせ、地域における生き物探しへの意欲を高める。</p>  | <p>△イ①<br/>(思考・判断・表現)</p>       |

○本時のめあて

「小学校の中で見つけたものを知らせよう。」

○本時の展開

|                         | 学習活動 ・ 予想される児童の反応  | 学習への支援   | 評価   |
|-------------------------|--|--|--|
| 導入                      | ○前時の活動をふりかえる。<br><br>○本時のめあてを確認する。   | ・生き物探しをした場所（校庭・小運動場・学級園）の写真を見せ、前時の活動を想起させる。  |  |
| しょうがっこうのなかで見つけたものを知らせよう |  |  |  |
| 展開                      | ○ロイロノートで前時に見つけたものを共有する。<br>・校庭にバッタがいたよ。<br>・小運動場にシロツメクサがあったよ。<br>・学級園にはたくさんの草が生えていたよ。<br><br>○場所ごとに見つけたものをまとめる。<br><br>○見つけたものを紙に書き、ジオラマに集める。<br>・花<br>・虫<br>・木<br>・草<br>・その他<br><br>○出来上がったジオラマを見て、種類が限られていることに気づく。 | ・見つけた場所と見つけたものが分かるようなカードを使用する。<br><br>・シンキングツールを用いて、みんなが見つけたものを場所ごとに整理させる。<br>・見つけたものを書いた旗を作成させ、生駒小学校のジオラマに集めさせる。<br><br>・ジオラマや見つけたものの整理の表から、小学校にはあまり多くの種類の生き物がいないことを意識させる。<br>・もっと多くの生き物と出会いたいという意欲を持たせる。 | △ イ ①<br>（思考・判断・表現）<br><br>△ ア ②<br>（知識・技能）<br>△ イ ②<br>（思考・判断・表現）<br>△ ウ ②<br>（主体的に学習に取り組む態度） |
| まとめ                     | ○次時からの活動を知る。   | ・もっと多くの生き物を見つけるためにどうしたら良いかを考えていくことを伝え、次時への見通しを持たせる。  |  |

## 6-③ 本時案 (3/10)

井上 佳守美

○本時のめあて

生き物が学校以外のどんな場所にいるかを考え、生き物探しの計画を立てる。

○本時の展開

|   | 学習活動・予想される児童の反応  | 学習への支援  | 評価                  |
|---|--|---|---------------------|
| 導入  | <p>○学校での生き物探しを振り返る。</p> <p>○本時のめあてを確認する</p>  | <p>・生き物は学級園などの草むらにいたことを気づかせる。</p>   |                     |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">           生き物が学校以外のどんな場所にいるかを考え、<br/>           生き物探しの計画を立てよう         </div> |  |   |                     |
| 展開  | <p>○学校以外のどんなところに生き物がいるかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園</li> <li>・出身園</li> </ul> <p>○生き物探しに行くときに必要なものを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虫網、むしかご</li> </ul> <p>○生き物探しに行くときの約束を考える。</p> | <p>・園や家庭での経験を思い出して、学校よりも多くの生き物がある場所を考えさせる。</p> <p>・今までの経験から、どのようなことに気を付けたらよいかを考えさせる。</p> <p>・教科書の「むしをさがすときのやくそく」で確認させる。</p> | △ イ ①<br>(思考・判断・表現) |
| まとめ   | ○本時の学習の振り返りをする。  | ・校外に虫探しに行くことを伝える。   |                     |

6-④ 本時案 (4/10~7/10)

米田 智香子

○本時のめあて

「むしがいるばしょをさがして、いろいろなむしをつかまえよう」

○本時の展開

|                              | 学習活動 ・ 予想される児童の反応  | 学習への支援  | 評価   |
|------------------------------|--|---|--|
| 導入                           | ○いきものさがしの道順を知る。<br><br>○本時のめあてを確認する。                       | ・目的地までの経路を示し、安全に行動するための約束を確認する。<br>・保護者や地域ボランティアの方に目的地や経路での見守りを願います。  |  |
| むしがいるばしょをさがして、いろいろなむしをつかまえよう |  |   |  |
| 展開                           | ○学校の外に出て、虫を探したり、捕まえたりする。                                   | ・「どんなところにいるのかな。」と投げかけることによって、虫の居場所とその状況、虫の様子などに児童の関心に向けられるようにする。<br>・どのように捕まえるとよいか考えさせ、生き物さがしに行くときの約束を思い出させる。<br>・捕まえた虫を飼育ケースに入れる際、「土を入れる」「草を入れる」など児童の言葉を取り入れる。 | △ウ①②<br>(主体的に学習に取り組む態度)<br><br>△イ①<br>(思考・判断・表現) |
| まとめ                          | ○捕まえた虫を友達と見せ合い、捕まえた場所や捕まえ方、虫の様子などを記録カードにかき、今後の育て方について話し合う。 | ・児童が発表した虫の種類と捕まえた場所を交流させる。<br>・虫を捕まえた場所に共通点があることに気づかせる。   | △ア①<br>(知識・技能)<br><br>△イ②<br>(思考・判断・表現)          |



○本時のめあて

「いこましようむしむしジオラマをつくろう①」

○本時の展開

|                      | 学習活動・予想される児童の反応   | 学習への支援   | 評価  |
|----------------------|---|--|---|
| 導入                   | <p>○見つけてきた虫たちを思い出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コオロギがいたよ。</li> <li>・アリがいた。</li> </ul> <p>○虫を見つけた場所の様子やあったものをみんなで確認する。</p> <p>○本時のめあてを確認する。</p>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真などを用意してどんな虫がいたかを思い出させる。</li> <li>・虫がいた場所(草むら)や公園にあったもの(ブランコやすべり台など)を確認して、公園の様子をイメージさせる。</li> </ul> |   |
| いこましようむしむしジオラマをつくろう① |   |  |   |
| 展開                   | <p>○グループに分かれて自分たちが見つけてきた虫や公園にあったものを作る。</p> <p>○制作したものを公園の中に置いていく。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業が円滑に進むように、役割分担をして活動させる。</li> <li>・撮影してきた写真など提示して視覚的な支援をする。</li> </ul>                              | <p>△ ア ②<br/>(知識・技能)</p> <p>△ ウ ②<br/>(主体的に学習に取り組む態度)</p> |
| まとめ                  | <p>○完成したものをお互いに見比べ、どんなものがあつたのか発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はとぼっぽ公園には○○がいたよ。</li> <li>・○○公園と○○公園には同じ虫がいるんだね。</li> <li>・公園にはいろいろなむしがいるね。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・似ているところはどこか、ちがうところはどこかを考えさせながら発表を聞くようにする。</li> </ul>   |   |

○本時のめあて

「いこましようむしむしジオラマをつくろう②」

○本時の展開

|                      | 学習活動・予想される児童の反応  | 学習への支援   | 評価  |
|----------------------|--|--|---|
| 導入                   | <p>○前時で作ったジオラマを見ながら公園の様子について思い出す。</p> <p>○公園や公園の周りにはどんなものがあったかを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランコがあった。</li> <li>・すべり台があったよ。</li> <li>・通っていた幼稚園があった。</li> <li>・登校の時に見守ってくれている人がいるよ。</li> </ul> <p>○本時のめあてを確認する。</p> | <p>・虫やあったものについて簡単にふれる。</p> <p>・幼稚園や市役所、商店街など、目印になるような建物を中心に想起させる。またその周辺で見かけるボランティアの人なども思い出させる。</p> |   |
| いこましようむしむしジオラマをつくろう② |  |  |   |
| 展開                   | <p>○グループに分かれて自分たちが見つけてきた建物や人を作る。</p> <p>○制作したものを公園の中に置いていく。</p>  | <p>・作業が円滑に進むように、役割分担をして活動させる。</p> <p>・撮影してきた写真など提示して視覚的な支援をする。</p>                                 | <p>△ ア ②<br/>(知識・技能)</p> <p>△ ウ ②<br/>(主体的に学習に取り組む態度)</p> |
| まとめ                  | ○完成したものをお互いに見比べ、どんなものがあったのか発表し合う。  | ・自分が住んでいる町にはいろいろなものがあることを知らせる。またたくさんの人も関わっていることも感じ取らせる。  |   |

6-⑦ 本時案 (10/10)

中垣 義之

○本時のめあて

「いこましようむしむしジオラマをしょうかいしよう」

○本時の展開

|                         | 学習活動・予想される児童の反応                 | 学習への支援  | 評価                       |
|-------------------------|---------------------------------|---|--------------------------|
| 導入                      | ○これまでの活動を振り返る。<br>○本時のめあてを確認する。 | ・これまでの学習活動を簡単に振り返る。   |                          |
| いこましようむしむしジオラマをしょうかいしよう |                                 |   |                          |
| 展開                      | ○見つけたものや気づいたことをお家の人へ発表する。       | ・グループごと(公園ごと)に見つけたものを発表させる。<br>・気づいたこと(むしのこと、ともだちのこと、じぶんのこと)について発表できるようにする。<br>・作ったジオラマを見せながら発表できるようにする。                      | △ イ<br>②(思考・判断・表現)       |
| まとめ                     | ○発表の感想を述べ合う。                    | ・むしのことをもっと知りたい気持ちや大切にしたいという気持ちを高めるようにする。<br>・むしの他にも自分たちが住んでいる校区にはたくさんのもので人があることに気づけるようにする。<br>・お家の人からも感想を述べてもらい、次の活動への意欲を高める。 | △ ウ ③<br>(主体的に学習に取り組む態度) |

《令和5年度に作成したジオラマ》

